

# 藤本真里主任研究員

県立有馬高校（三田市）

人と自然科は、有馬富士公園をフィールドとした夢プログラム企画・実践で、2020年度グリーンスクールの表彰を知事から受けました。里地里山をテーマとした実践的環境教育が評価されました。

この授業は10年から続いています。当時、阪神北県民局宝塚土木事務所とひと



## ひとほく 研究員 だより

# 有馬高生が主役のプログラム

はくは、有馬高校に「授業で有馬富士公園を使いませ

んか」と営業に出掛け、ご快諾いただいたことが始まりでした。

公園では、01年の開園当初から20くらいのグループが自主企画イベントをやっています。自然観察からコ

ーラスまで多種多様で、ホスピタリティ（おもてなしの心）の高さが自慢です。里山に関連したグループが講師になって体験を交えながら、プログラム企画の極意やこだわりを伝えていきます。

私も有馬富士の住民参画の仕組みを話す折に「長年関わっている公園で高校生が自分たちで考えたプログラムをやってくれようという様子を見るだけで涙がちよちよ切れるほどうれしいわ」と叫んでいます。本当にそんな思いなのです。また、うれしいことにこの授業は人気が高く、選んだ理由を聞くと、「先輩に聞いておもしろそうだった」「よく遊んでいた有馬

富士公園で何かできることが楽しそう」「自分たちで考えるプログラムに興味がある」「入学前の説明会で知り外に出掛けるのが楽しそうだった」という意見で、屋外で気の合う仲間と何か考えて行動することを楽しんでいることがよく分かります。屋外で遊んでいるようなものかもしれないませんが、夢プログラムの本質もそこにあります。楽しいから続いているのです。

高校生のアイデアにも驚かされます。福島大池に有馬富士の竹で組んだイカダをペットボトルで浮かべて自然観察▽福島大池を眺めながらかやぶき民家で足湯▽有馬富士でできた米粉を使ったピザを手作り窯で焼くーなど、大人にはない感性のプログラムです。

この表彰をきっかけに、地域の現場に入る授業が増え、高校生が公園大好きな大人になってくれたらうれしいと思います。



有馬富士の竹で組んだイカダを福島大池に浮かべる生徒。いずれも有馬富士公園



有馬富士でできた米粉を使ったピザを手作り窯で焼く様子